



茶内小だより



茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

◇茶内地区サポーター募集中◇

地域の皆様の、「ちょっと得意」「ちょっとお手伝いできますよ」という内容で子供たちの学びを充実させるためのお力添えいただける方を大募集しています。学校までご連絡ください。



9月行事予定



日	曜	学校行事・PTA行事など
1	月	シェイクアウト訓練
2	火	外国語アドバイザー訪問
3	水	朝の読み聞かせ 4時間授業 町研一斉研究日（3年生のみ5時間）
4	木	宿泊研修（5・6年）
5	金	宿泊研修（5・6年）
6	土	茶内八幡神社祭典（宵宮） 町民駅伝大会
7	日	茶内八幡神社祭典（神輿渡御）
8	月	
9	火	水泳学習（3・4年）
10	水	朝の読み聞かせ 水泳学習（1・5年） 職員会議
11	木	評価業務（4時間授業）
12	金	評価業務（4時間授業） 浄水場見学（4年） 水泳学習（2・6年） 定時退勤日
13	土	週休日
14	日	週休日
15	月	祝日 敬老の日
16	火	
17	水	朝の読み聞かせ 校内研修⑩
18	木	牧場見学（3年）
19	金	スクールカウンセラー来校日⑤(午前) 児童委員会⑥
20	土	週休日
21	日	週休日
22	月	
23	火	祝日 秋分の日
24	水	みんなの広場⑤ 校内研修⑪
25	木	町特支学習交流会①
26	金	
27	土	週休日 町民マラソン大会
28	日	週休日
29	月	就学時健診
30	火	前期あゆみ配付

※現在、第2回コミュニティスクールの日程を調整中です。

「想定外」を想定する

27日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。転出がありましたので全校児童82名でのスタートです。始業式当日はお休みの子もいましたが、今週は、全員の元気な顔を見ることができました。大きな事故・怪我がなく2学期を迎えることができ嬉しく思います。

この夏休み中、自然の猛威を感じる出来事がたくさんありました。一つ目は、全国的に猛暑が続き、熱中症のニュースが連日流れていました。群馬県伊勢崎市では41.8度と国内観測史上最高気温を記録しました。二つ目に、カムチャツカ半島沖の地震による津波警報の発令がありました。本校の児童にも沿岸部から高台へ避難した子がいたと聞いています。三つ目に、大雨による冠水被害が全国的に多発しました。ここ道東でも突然の豪雨で予定変更を余儀なくされた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。四つ目に、羅臼岳で登山者が熊に襲われる被害がありました。熊のニュースは身近だけにショックが大きかったと思います。

さて、どれも自然の威力を感じる出来事ですが、これらは天災でしょうか人災でしょうか。

自然災害は天災だという意見が多いと思いますが、その原因となる気候変動はもしかすると人類の近代化による影響もあるかもしれません。そうすると人災とも言えます。

また、熊の事故は、人間が熊の生息する自然環境に入りこんだ結果だけなら天災かもしれません。ですが、観光客による餌付け等が熊の人間に対する認識に影響を与えていたなら、これも人災です。天災を防ぐのは難しいですが、人災ならば結果を分析し次へ備えることで策を講じることが出来ます。私たちが直接国や自治体の施策に関わることは少ないですが、学校では防災教育を充実させることがその一つです。

例えばこの夏に起きた事例を防災教育の教材にすることが出来ます。道東で起きた出来事ですから、身近に感じながら考えさせることが出来ます。また、本校では「茶内防災の日」という素晴らしい取組が受け継がれています。過去の悲しい事故からの学

校長 南 卓也

びを継承していくことで、直接経験していない子供たちが危険を自分事として考えることにつながっています。

プロ野球選手だった故野村克也監督は、「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。」と述べています。この言葉はもともと、江戸時代の剣術の達人、松浦静山の剣術書から引用されたものです。「勝ったときは運もあり得るが、負けるときには必ず何か負ける要素がある。」という意味です。これを防災に当てはめ、成功体験のみを参考にするのではなく、失敗体験から学ぶ大切さに気付かせることができます。

そして、防災教育の究極の目標は「探究的に問い続ける姿勢」を養うことにあります。単に情報を受け取るだけでなく、自ら調べたり自分の考えをまとめたりしながら、自分の判断で行動できる子を育てたいと考えています。私たちの日常生活の中に「どんな危険が潜んでいるのか」「熊に遭わないためにはどんな手立てがあるのか」「どんなことを考えて行動すればよいのか」「もし熊が出たら自分はどう行動するか」様々な問題に直面した時に、自分の考えて行動できることが大切です。

この夏の出来事を教訓に私たちは策を講じて教育活動を推進していきます。先週、数年ぶりに実施した遠足では、熱中症対策、熊対策、雷対策、さまざまな災害を想定して準備を進めました。2011年の東日本大震災の際に「想定外」という言葉が多く聞かれましたが、想定外という言葉は、その時点で思考を止めてしまいます。私たちは常に「想定外」を想定することで、学校における教育活動をより安全で安心なものにできると考え、これからも教育活動を充実させてまいります。

<お知らせ>

舟山愛恵教諭が7月に無事出産し育児休業に入りました。後任として、6月まで本校に勤務していた斉藤優太教諭が期限付き教諭として過日着任しました。斉藤教諭は4月当初に受け持っていた学級を担当いたします。よろしくお願いたします。

「2学期」スタートです！

8月21日（木）、84日間の2学期が始まりました。始業式では、校長先生から「長い2学期の1日1日を有意義に過ごすために、目標をもって生活しましょう。」というお話がありました。



また、児童会代表あいさつでは、夏休みの思い出（楽しかったこと・大変だったこと）と2学期の抱負について発表してくれました。

どの学年も勉強や行事について目標をもち、全力で取り組む2学期になりそうです。



「夏休み作品展 2025」開催



夏休み中に取り組んだ自由研究や工作などの作品を玄関前ホールに展示していました（本日まででした）。

茶内小学校では、夏休みの作品への取組は任意としておりますが、一人一人の個性が光る力作がズラリと並びました。

自分で興味をもったことに向き合い、時間をかけて調べたり、作成したりした時間は、子供たちにとって何物にも代えがたい経験になったことと思います。



お家の方に協力していただいた場面もあったことと思います。ありがとうございました。

「PTA七夕まつり 2025」開催

8月1日（金）、PTA研修・厚生補導部合同企画「七夕まつり」を開催しました。今年度は、「星空観察会」にあすなろ会こども遊学館から講師の方をお招きし、ミニプラネタリウムや天文クイズなど実施していただきました（あいにく曇天だったため、天体望遠鏡を見ることはできませんでした）。

今年度は、受付後、短冊を飾り、さっそくマシュマロ焼きなどの体験をしました。開会式後に「星空観察会」、手持ち花火、打ち上げ花火と時間が足りないと感じるくらい楽しい企画が盛りだくさんで、大盛況のうちに終わることができました。



今年度は、保育園児（年長）にも参加を呼びかけるなど新しい試みをしたこともあり、昨年度に引き続き、総勢150名を超える皆様にご参加いただくことができました。

準備・運営をすすめていただいたPTA会長をはじめ、研修、厚生補導委員会の皆様、本当にありがとうございました。



「夏休みラジオ体操」

今年度もコミュニティ・スクールの役員さんが中心となり、ボランティアの方の協力を得ながら、7月25日（金）～8月5日（火）の10日間実施することができました。

毎日参加する子供も見られ、元気に体を動かしていました。



ほぼ毎日参加賞をもらっていた

最終日の様子です。

皆勤賞、おめでとう!!

ようで、みんなそれを楽しみに参加していたみたいです（笑）。



夏休みの生活リズムを整える素敵な機会となりました。

本日、「茶内小だより特別号」で学校評価アンケートの結果について掲載しております。ご一読の程よろしくお願い致します。

行ってきましたMO-TT0かぜで「遠足」

8月22日（金）、延期になっていた「遠足」に行ってきました。コロナ禍以降初の実施となる今回は、浜中駅～MO-TT0かぜまでの約1.6km(Google Maps調べ)の道のりを縦割り班で歩きました。どのグループも6年生を中心に、高学年が低学年を気遣い、声をかけながらゴールを目指す姿が見られました。



MO-TT0かぜにて到着してからは、各縦割り班での遊び、6年生企画の縦割り班対抗全校遊び（借り人競走、障害物リレー）と楽しい企画は続きます。あまりにも楽しみ過ぎて、お昼の時間に若干食い込むほどみんなで夢中になって遊びました。昼食も縦割り班で仲良く食べました。



1日を通して、上級学年は年長者としての自覚と責任感を高め、下級生はそのような上級学年に憧れの気持ちを抱くなど、縦割り班活動を通じて茶内小学校の児童全体の絆を深めることができたように感じました。このような活動が伝統となり、また次の世代がよりよい茶内小学校を築いてくれることと思います。

みんなで楽しみ、みんなで一回り成長した1日でした。

